

平成 20 年 7 月 1 日

いすゞ自動車（株）による燃料タンクキャップの自主改善の実施について

いすゞ自動車株式会社から、補用品として出荷した燃料タンクキャップについて以下の通り自主改善を実施する旨報告がありました。

自主改善開始日	平成 20 年 7 月 2 日
不具合の内容	補用品として出荷した大型トラック用燃料タンクキャップの爪部の硬度が不足しているものがあるため、使用過程において当該爪部が変形し、キャップの保持力が低下するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると燃料タンクキャップの保持力がなくなり、燃料が漏れるまたは、燃料タンクキャップが脱落するおそれがある。
改善の内容	燃料タンクキャップを点検し、不具合品の場合は良品と交換する。
クレーム件数	0 件
事故の有無	無し
使用者に周知させるための措置	・新聞(読売、朝日、毎日、産経、日経)の7月2日付朝刊に社告を掲載するとともに、インターネットホームページへの掲載および販売会社の店頭等において告知を行う。

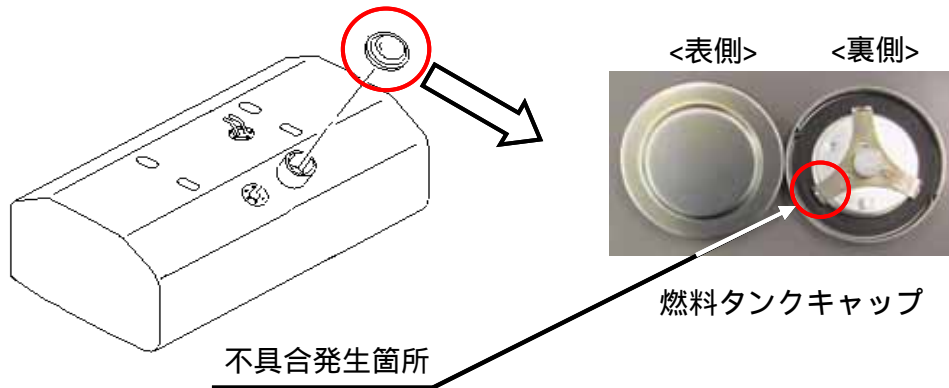
対象の製品名	部品番号	出荷期間	自主改善対象数	備考
大型トラック用 燃料タンクキャップ	1-22440061-0	平成 19 年 1 月下旬～ 平成 20 年 3 月下旬	329 個	
(1 種類)		合計	329 個	

問い合わせ先

いすゞ自動車株式会社 お客様相談センター

0 1 2 0 - 1 1 9 - 1 1 3

不具合箇所説明図



対象の製品名	部品番号	外観
大型トラック用 燃料タンクキャップ	1-22440061-0	

補用品として出荷した大型トラック用燃料タンクキャップの爪部の硬度が不足しているものがあるため、使用過程において当該爪部が変形し、キャップの保持力が低下するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると燃料タンクキャップの保持力がなくなり、燃料が漏れるまたは、燃料タンクキャップが脱落するおそれがある。

改善の内容: 燃料タンクキャップを点検し、不具合品の場合は良品と交換する。